

日南市公共施設等総合管理計画
(個別施設計画)

博物館等編

令和2年3月

観光・スポーツ課
総務・危機管理課
生涯学習課

1. 対象施設

平成29年度末現在、博物館等施設は18施設で、延床面積の合計は6,377.57㎡となっております。

No.	施設名	所在地	総床面積 (㎡)	棟数
1	飢肥城歴史資料館	日南市飢肥十丁目4242番1	262.84	1
2	商家資料館	日南市飢肥八丁目4152番3	263.71	1
3	豫章館	日南市飢肥九丁目4239番	556.21	3
4	松尾の丸	日南市飢肥十丁目4242番8	932.18	3
5	旧飢肥藩振徳堂	日南市飢肥十丁目8193番	254.66	3
6	小村寿太郎生家	日南市飢肥四丁目8259番1	168.02	1
7	旧伊東伝左衛門家	日南市飢肥四丁目8248番2	115.27	1
8	旧山本猪平家	日南市飢肥五丁目4089番イ	407.77	6
9	伊東記念館	日南市飢肥九丁目4238番2	163.93	1
10	飢肥城大手門	日南市飢肥十丁目4242番1	65.58	1
11	旧高橋源次郎家	日南市飢肥五丁目4077番1	328.92	5
12	小村記念館	日南市飢肥四丁目4236番	1180.00	1
13	油津赤レンガ館	日南市油津一丁目9番3号	394.08	1
14	堀川資料館	日南市油津一丁目1-13	129.00	1
15	旧守永家(旧飯田医院)	日南市飢肥2丁目5-18	515.67	3
16	旧小鹿倉家	日南市飢肥八丁目4131	250.39	3
17	旧伊東祐正家	日南市飢肥四丁目4237	157.85	1
18	旧河野宗泰家	日南市油津1丁目9番3号	231.49	1
計			6,377.57	37

2. 計画期間

令和2年(2020年)度から令和8年(2026年)度までの7年間とし、進捗状況の結果等を踏まえて、適宜、計画を見直すものとします。

3. 対策の優先順位の考え方

(1) 施設の役割

【飢肥城由緒施設及び小村記念館】

飢肥城由緒施設は、飢肥城に係る市指定有形文化財の施設及びその他の由緒施設を歴史的、教育的配慮の下に保存し、教育、文化、調査研究及び一般の利用に供する施設です。

小村記念館は、明治の外交官小村寿太郎侯の遺徳を顕彰するとともに、国際交流、教育文化活動及び人材の育成に寄与する施設です。

また、平成18年度より、民間の能力を活用し、住民サービスの向上と経費の削減を目指すため指定管理者制度を導入していましたが、令和元年度より当面の間、市の直営で管理を行い、あわせて今後の飢肥地区の観光や施設の在り方を全体的に見直すこととしています。

【油津赤レンガ館】

平成10年に国登録有形文化財に指定され、平成24年に国から認定された中心市街地活性化基本計画に基づき、油津地区の観光振興ゾーンの拠点の一つとして歴史ガイダンス機能と休憩スペースとして活用することとしています。また、創造的な作業・思索の場としてコワーキングスペースを設置し、企業家・クリエイターの交流や地域市民とのふれあいを通して新たなビジネスを創出するとともに、地域経済の活性化に寄与する拠点として運用を開始しました。

さらに、平成30年5月には、油津港周辺地区が「みなとオアシス油津」として登録され、赤レンガ館が国際交流と地域住民の交流の場として登録されたことから、油津港や堀川運河を含めた観光振興・地域交流につながる利活用を図るため、平成31年4月より、2階のコワーキングスペースを一般の方が利用できる多目的交流スペースに変更しています。

【堀川資料館】

堀川資料館は、平成8年に観光案内所堀川として建設され、堀川運河の歴史や堀川運河を舞台にロケの行われた「男はつらいよ第45作」にちなんだ資料が展示されており、また登録有形文化財である堀川運河と堀川橋が一望できる展望施設として活用されています。

【旧守永家（旧飯田医院）】

平成24年3月に所有者より市へ寄附された大正11年（1922）の建築で、飢肥の歴史的景観を構成する数少ない洋館（病院）と和館（主屋）、納屋が現存する、まちづくりや飢肥観光の中核施設としての活用が期待される建築物です。歴史まちづくり法に基づき平成25年に国の認定を受けた「日南市歴史的風致維持向上計画」では、旧飯田医院の活用を図るため、守永家（旧飯田医院）保存整備事業として位置づけています。

【旧小鹿倉家】

平成27年3月に所有者より市へ寄附された明治12年（1879）の建築で、部材には元禄6年（1693）建築の飢肥城小書院の一部が使用されています。伝統的建造物群保存地区内でも代表的な武家屋敷で保存すべき伝統的建造物です。飢肥城内の当時の建築部材が使用されている貴重な歴史的建造物であり、その価値を守りながら活用を図るべき建築物です。

【旧伊東祐正家】

当該地は大手門に位置する飢肥藩伊東家の家老格の屋敷地であり、現在の建物は、明治初期の火災後（明治27年以後）に再建されたもので、飢肥の保存すべき伝統的建造物です。江戸期の住宅からの隔たりは感じるものの、明治前期の武家住宅の様相を呈しており、近世以来の住宅形式が少しずつ変化する様子を捉えることができる優れた武家住宅で、観光客に飢肥の武家住宅を印象づける役割を担う貴重な建物となっています。

【旧河野宗泰家】

当該物件は、平成10年に国の登録有形文化財に登録されています。かつて、油津赤レンガ館を所有した河野宗泰家の主屋であり、油津赤レンガ館と同一敷地内に所在していることから、赤レンガ館と一体的に活用することができれば、油津観光の魅力拠点としての役割を担える建物です。

(2)現状と課題

【飢肥城由緒施設及び小村記念館】

飢肥城歴史資料館、松尾の丸、旧飢肥藩振徳堂、飢肥城大手門は、昭和51年から54年の飢肥城復元事業によりそれぞれ建設、修理、復元されたものであり、その他の施設については、所有者より寄贈され、必要な改修・修理を行った上で市が一般公開・管理を行っています。

このうち、建築年度が江戸時代から明治、大正時代の歴史的建造物は十分な耐震性能が得られていない状況です。

いずれも歴史的・文化的に貴重な施設であることから、耐震機能に配慮しつつ大規模な改修計画を行う必要があります。

また、今後の飫肥地区の観光や施設の在り方を含め全体的に見直し検討を行い、管理・活用についての方針を早急に定める必要があります。

【油津赤レンガ館】

1階を多目的室と観光案内・2階部分をコワーキングスペースとして開館していますが、2階部分はコワーキングスペースとしての限定的な利用となっており、現在は個人利用者が利用するに留まっています。また、油津商店街や創客創人センター等にコワーキングスペースと同様の機能を備えた施設が増えたこと、さらに、平成30年5月に国際交流と地域住民の交流の場として「みなとオアシス油津」の構成施設に登録されたことから、平成31年4月より2階部分を「多目的交流スペース」に変更し、新たな利活用を図ることとしています。

【堀川資料館】

堀川資料館は、平成8年に建築され築後20年以上を経過しており、一部修繕が必要な箇所はありますが、これまで適切な管理を行っており、当分の間は現状のまま施設を活用することが可能と見込まれます。

平成30年5月に「みなとオアシス油津」の構成施設に登録されたことから、情報提供施設としての更なる活用が求められています。

【旧守永家（旧飯田医院）】

老朽化がかなり進んでおり、今後台風等による損壊の拡大が懸念されます。修理には多額の費用を要することから現在まで未整備のままです。

【旧小鹿倉家】

平成29年8月から10月に地域振興課において旧小鹿倉家利活用事業者を公募した結果、株式会社Yumegurashi（現Nazuna）が事業施行者として選定されました。現在、宿泊施設開業に向けて改修工事を進めているところです。

【旧伊東祐正家】

旧伊東祐正家は、日南市飫肥伝統的建造物群保存地区保存計画において、保存地区内における伝統的建造物を保存するため、特に必要と認められる建築物として位置づけられています。しかし、修理には多額の費用を要することから現在まで未整備のままです。老朽化がかなり進んでおり、今後台風等による損壊の拡大が懸念されます。

【旧河野宗泰家】

修理には多額の費用を要することから、現在まで未整備のままとなっています。屋根や周囲の壁はトタンで覆っていますが、老朽化がかなり進んでおり、今後台風等による損壊の拡大が懸念されます。

(3) 今後の施設の考え方

【飫肥城由緒施設及び小村記念館】

城下町飫肥は、昭和52年に九州で最初の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、これまで、歴史的景観を活かしたまちづくりを推進しています。

また、県内有数の観光地であり、市のみならず本県の観光振興に大きく寄与しています。

これら歴史的建造物は、歴史的・文化的にも価値のある施設のため、今後も市民の財産（地域資源）として継続して保存、活用していくこととします。なお、飢肥城歴史資料館、松尾の丸、小村記念館については、新たに建設された施設であることから、時代のニーズに応じて大規模なリノベーションによる施設目的の変更を検討することが必要です。

また、一部の施設では老朽化（特に附帯部分）が顕著であることから、耐震診断の実施や改修計画を策定した上で必要な改修もしくは復元工事等を図ることとします。

さらに、災害や事故等の発生に対する施設利用者への安全対策を十分に検討し、非常の際に備えます。あわせて、施設の今後の保存や利活用について全庁的な協議・検討を行い、今後の在り方について方針を定めることとします。

【油津赤レンガ館】

平成10年に文化庁登録有形文化財に指定され、油津を代表する歴史的建造物です。歴史的・文化的にも価値のある施設のため、継続して保存・利活用していくこととします。

また、「みなとオアシス油津」に登録されたことを受け、平成31年4月より2階コワーキングスペースを、観光客や地域住民、クルーズ船客等の交流の場「多目的交流スペース」とし、イベントやコンサート等も可能となる新たな利活用を行っていきます。

平成16年に市に寄附され、耐震補強や改修工事を行った後に一般公開・管理を行っていますが、今後も必要に応じた補修・改修を行い、継続して運営できるようにします。

【堀川資料館】

堀川資料館につきましては、引き続き適切な維持管理に努めていきます。

また、「みなとオアシス油津」の構成施設に登録されたことから、構成施設の機能である休憩機能及び情報提供機能の充実を図り利用者の増加に努めていきます。

【旧守永家（旧飯田医院）】

旧飯田医院の活用については、歴史的建造物としての価値を維持し、その価値を最大限に活かした活用を図ることが飢肥のブランド力を高めることにつながると考えます。当該物件は、歴史的建造物として保存・活用されることを所有者が市に託して寄附したものであるため民間への譲渡（売却）は行いませんが、飢肥の観光振興や地域活性化につなげつつ、当該物件の保存・活用を図れるよう、普通財産化による民間への貸付についても検討していきます。

【旧小鹿倉家】

旧小鹿倉家は、日南市伝統的建造物群保存地区保存条例に基づく「日南市飢肥伝統的建造物群保存地区保存計画」における保存すべき物件（伝建地区の歴史的風致を構成する重要な物件）に位置づけられています。そのため、歴史的建造物としての価値を可能な限り損なわない活用とし、消滅した場合は再現不可能なので火災等に対する対策を講じるとともに、保存すべき物件の範囲については、将来的に元に戻すことが可能な活用方法であることを条件とします。当該物件は、歴史的建造物として保存・活用されることを所有者が市に託して寄附したものであるため民間への譲渡（売却）は行いませんが、当該物件の保存・活用を図る上で普通財産化による民間への貸付を行います。

【旧伊東祐正家】

当該物件は飢肥城大手門前に位置し、飢肥伝統的建造物群保存地区の歴史的景観にとって重要なエリアです。したがって、飢肥城下町における当該建築物の持つ歴史的価値を尊重し、城下町飢肥の品格や雰囲気尊重した活用を図ることが大切です。今後の保存・活用に当たっては、歴史的建造物の活用基準等を定め、普通財産化による民間への貸付も検討していきます。

【旧河野宗泰家】

当該物件は、港町油津の歴史的景観を形成し、油津観光の拠点となりうる重要なエリアに位置しています。したがって、保存・活用のあり方について検討・意志決定し、それに基づき本来の姿に復元して港町の歴史的景観を再現するか、現状維持として保存に必要な修理を行う等の手立てが必要です。

4. 飫肥城由緒施設の状況等

(1) 施設性能

No.	施設名	建築年度 (西暦)	経過年数	構造	耐用年数	残寿命年数 (年)	耐震		大規模改修	
							診断	改修	年度	改修
1	飫肥城歴史資料館	1978	39	RC	50	11	済	不	H10 H14	屋・他
2	商家資料館	1870	147	W	24	-123	未	未		
3	豫章館	1869	148	W	24	-124	未	未		
4	松尾の丸	1979	38	W	24	-14	未	未	H10 H11	屋・壁・他
5	旧飫肥藩振徳堂	1831	186	W	24	-162	未	未	H12	屋
6	小村寿太郎生家	1921	96	W	24	-72	未	未		
7	旧伊東伝左衛門家	1856	161	W	24	-137	未	未		
8	旧山本猪平家	1907	110	W	24	-86	未	未	H10	屋・壁・他
9	伊東記念館	1978	39	RC	50	11	未	未		
10	飫肥城大手門	1978	39	W	24	-15	未	未		
11	旧高橋源次郎家	1870	147	W	24	-123	未	未		
12	小村記念館	1992	25	RC	50	25	新	新		
13	油津赤レンガ館	1922	95	鉄骨レンガ造	41	-54	済	済	H21	屋・壁・他
14	堀川資料館	1996	21	W	24	3	新	新		
15	旧守永家(旧飯田医院)	1922	95	W	24	-71	未	未		
16	旧小鹿倉家	1879	138	W	24	-114	未	未		
17	旧伊東祐正家	1894	123	W	24	-99	未	未		
18	旧河野宗泰家	1922	95	W	24	-71	未	未		

(注1) 平成29年度末現在の状況について記載

(注2) 複数の建物からなる施設については、主たる建物について記載

※構造: W=木造、RC=鉄筋コンクリート、SRC=鉄筋鉄骨コンクリート、S=鉄骨、LGS=軽量鉄骨、CB=コンクリートブロック

※残寿命年数: 耐用年数-経過年数〔基準年度-建築年度〕

※耐震診断: 新=新耐震基準(建築年がS57年以降)、済=旧耐震基準(建築年がS56年以前)であり耐震診断が実施済み、

未=旧耐震基準であり耐震診断が未実施、不=旧耐震基準であるが新耐震基準で建てられているため、耐震診断不要

※耐震改修: 新=新耐震基準、済=耐震改修が実施済み、未=耐震診断が未実施又は耐震改修が必要であるが未実施

不=旧耐震基準であるが耐震改修が不要

※大規模改修: 屋=屋根改修、屋上防水改修、壁=外壁改修、他=設備改修、内装その他改修

(2) 利用・運営状況

No.	施設名	総床面積 (㎡)	稼働日数 (日)	利用者数 (人)	年間コスト (円)	㎡当たりコスト (円)	1日当たり利用者 数(人)
1	飢肥城歴史資料館	262.84	365	35,465	1,726,030	6,567	97
2	商家資料館	263.71	365	15,959	1,731,743	6,567	44
3	豫章館	556.21	365	30,529	3,652,546	6,567	84
4	松尾の丸	932.18	365	35,909	6,121,484	6,567	98
5	旧飢肥藩振徳堂	254.66	365	—	1,672,313	6,567	—
6	小村寿太郎生家	168.02	365	—	1,103,362	6,567	—
7	旧伊東伝左衛門家	115.27	365	—	756,961	6,567	—
8	旧山本猪平家	407.77	365	17,396	2,677,763	6,567	48
9	伊東記念館	163.93	365	—	1,076,503	6,567	—
10	飢肥城大手門	65.58	365	—	430,654	6,567	—
11	旧高橋源次郎家	328.92	365	15,416	2,159,967	6,567	42
12	小村記念館	1180.00	365	38,062	7,748,880	6,567	104
13	油津赤レンガ館	394.00	360	26,521	4,305,698	10,928	74
14	堀川資料館	129.00	360	—	822,302	6,374	—
15	旧守永家(旧飯田医院)	515.67	0	0	49,200	95.4	0
16	旧小鹿倉家	250.39	0	0	1,016,791	4,060.8	0
17	旧伊東祐正家	157.85	0	0	0	0	0
18	旧河野宗泰家	231.49	0	0	0	0	0

(注1) 1～12の施設について、稼働日数、利用者数、年間コストは過去2年間(H28～29年度)の平均を記載(H27は施設ごと利用者数が不明)

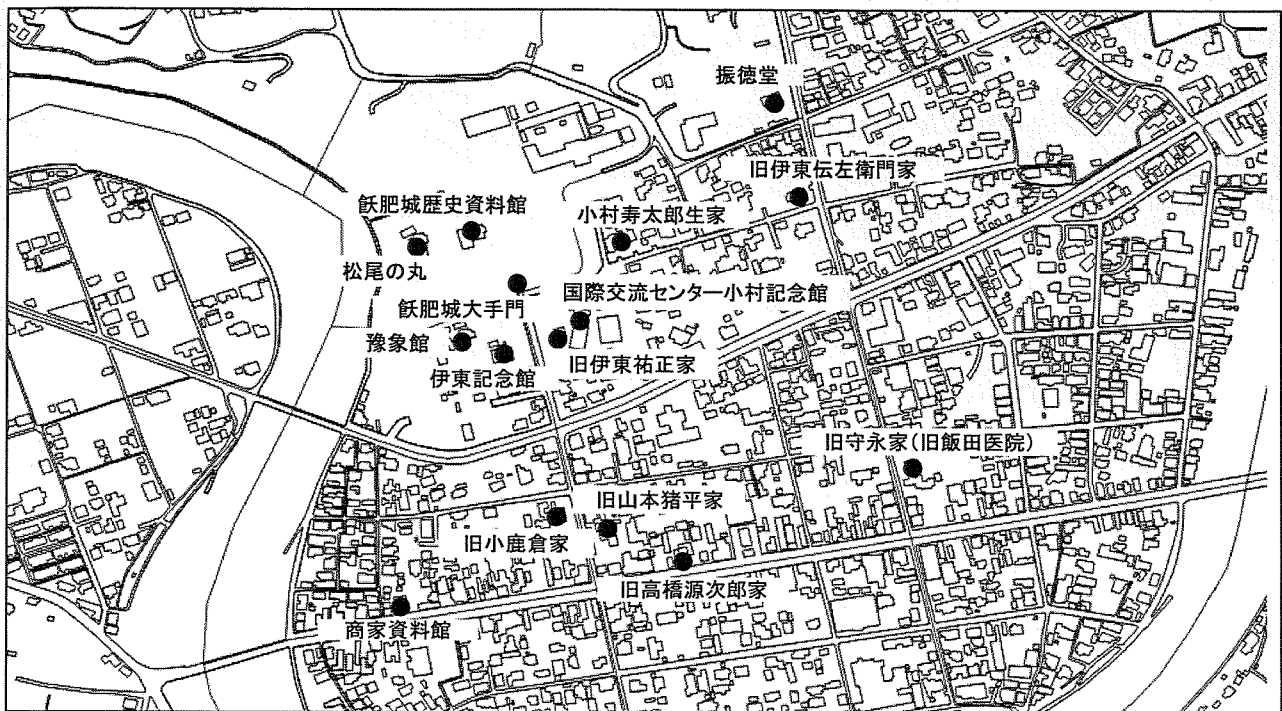
(注2) 14～18の施設について、稼働日数、利用者数、年間コストは、過去3年間(H27～29年度)の平均を記載

(注3) 伊東記念館、振徳堂、小村寿太郎生家、旧伊東伝左衛門家、伊東記念館、飢肥城大手門、堀川資料館は利用者数不明

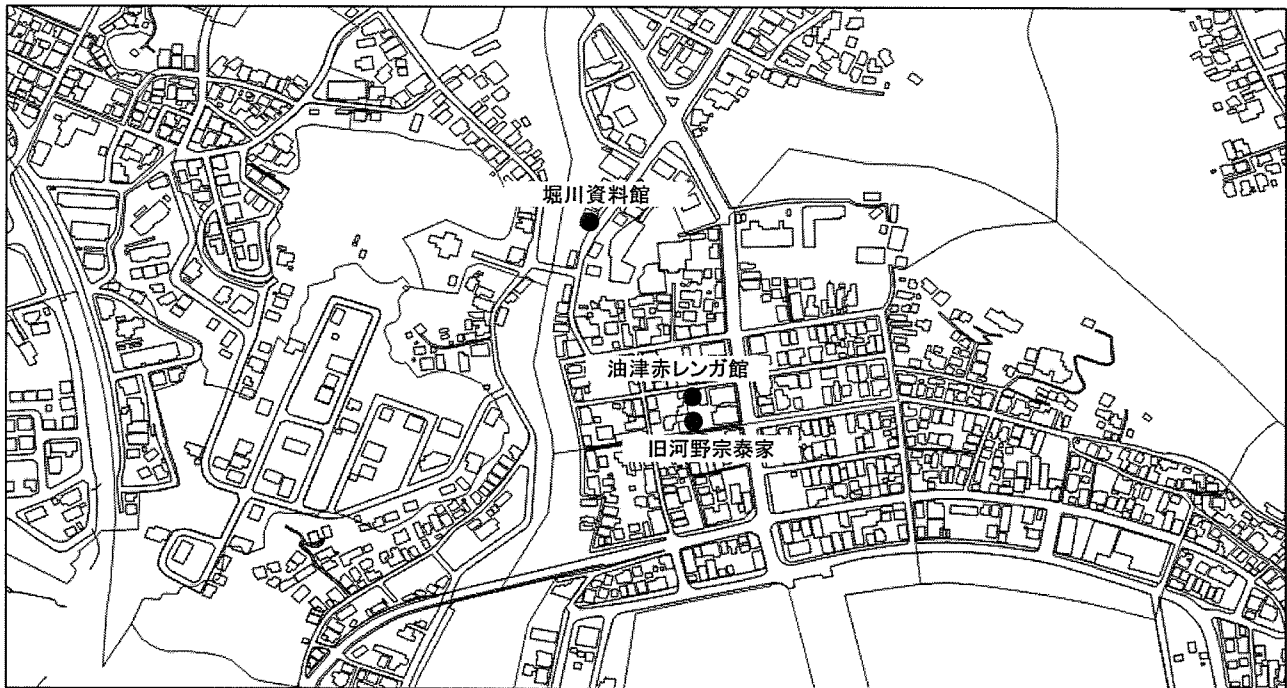
(注4) 1～12施設の利用者数は、各有料施設の利用者数のうち、有料入館者を記載

5. 施設配置状況

日南市飢肥周辺



日南市油津周辺



6. 適正化計画

現状や課題、今後の考え方を踏まえ検討した適正化計画は次のとおりです。

(1) 今後の方針

No.	施設名	方針
1	飢肥城歴史資料館	当面は市の直営管理とし、あわせて、今後の施設の在り方について全庁的な協議・検討を行う。
2	商家資料館	当面は市の直営管理とし、あわせて、今後の施設の在り方について全庁的な協議・検討を行う。
3	豫章館	当面は市の直営管理とし、あわせて、今後の施設の在り方について全庁的な協議・検討を行う。建築後60年以上経過していることから、改修について関係課等と協議・検討する。
4	松尾の丸	当面は市の直営管理とし、あわせて、今後の施設の在り方について全庁的な協議・検討を行う。
5	旧飢肥藩振徳堂	当面は市の直営管理とし、あわせて、今後の施設の在り方について全庁的な協議・検討を行う。トイレについては浄化槽の老朽化による不備があることから、改修について協議・検討する。
6	小村寿太郎生家	当面は市の直営管理とし、あわせて、今後の施設の在り方について全庁的な協議・検討を行う。
7	旧伊東伝左衛門家	当面は市の直営管理とし、あわせて、今後の施設の在り方について全庁的な協議・検討を行う。建築後60年以上経過していることから、改修について関係課等と協議・検討する。
8	旧山本猪平家	当面は市の直営管理とし、あわせて、今後の施設の在り方について全庁的な協議・検討を行う。建築後60年以上経過していることから、改修について関係課等と協議・検討する。
9	伊東記念館	当面は市の直営管理とし、あわせて、今後の施設の在り方について全庁的な協議・検討を行う。現在観光施設として開放していないことから、今後の利活用について関係課等と協議・検討を行う。
10	飢肥城大手門	当面は市の直営管理とし、あわせて、今後の施設の在り方について全庁的な協議・検討を行う。
11	旧高橋源次郎家	当面は市の直営管理とし、あわせて、今後の施設の在り方について全庁的な協議・検討を行う。建築後60年以上経過している上、土蔵、納屋等の老朽化が激しく一部破損している部分もあることから、改修について関係課等と協議・検討する。
12	小村記念館	当面は市の直営管理とし、あわせて、今後の施設の在り方について全庁的な協議・検討を行う。
13	油津赤レンガ館	歴史的価値のある文化財及び観光施設として市及び開館委託業者にて適切な管理運営を継続して行う。
14	堀川資料館	適切な維持管理のもと、施設の延命に努める。 また、民間への貸付や譲渡に向けた検討を進め、効率的な管理運営を図る。
15	旧守永家(旧飯田医院)	今後の施設の在り方について全庁的な協議・検討を行い、それに基づき、必要な改修については関係課等と協議・検討する。
16	旧小鹿倉家	民間運営の宿泊施設(客室)として活用する。(令和元年度より貸付)
17	旧伊東祐正家	今後の施設の在り方について全庁的な協議・検討を行い、それに基づき、必要な改修については関係課等と協議・検討する。
18	旧河野宗泰家	今後の施設の在り方について全庁的な協議・検討を行い、それに基づき、必要な改修については関係課等と協議・検討する。

(2)計画期間内(7年)の対策内容及び対策費用

(単位:百万円)

No.	施設名	棟名称	項目	計画期間							
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
1	飢肥城歴史資料館	資料館	対策内容								
			対策費用								
2	商家資料館	資料館	対策内容								
			対策費用								
3	豫章館	主屋	対策内容								
			対策費用								
		食堂	対策内容								
			対策費用								
		御数奇屋	対策内容								
			対策費用								
4	松尾の丸	主屋	対策内容								
			対策費用								
		倉庫	対策内容								
			対策費用								
		便所	対策内容								
			対策費用								
5	旧飢肥藩振徳堂	主屋	対策内容								
			対策費用								
		長屋門	対策内容								
			対策費用								
		便所	対策内容								
			対策費用								
6	小村寿太郎生家	主屋	対策内容								
			対策費用								
7	旧伊東伝左衛門家	主屋	対策内容								
			対策費用								
8	旧山本猪平家	主屋	対策内容								
			対策費用								
		離れ	対策内容								
			対策費用								
		薪置場	対策内容								
			対策費用								
		管理人室・便所	対策内容								
			対策費用								
倉庫	対策内容										
	対策費用										
その他	対策内容										
	対策費用										
9	伊東記念館	資料館	対策内容								
			対策費用								
10	飢肥城大手門	資料館	対策内容								
			対策費用								
11	旧高橋源次郎家	主屋	対策内容								
			対策費用								
		離れほか	対策内容								
			対策費用								
		納屋	対策内容								
			対策費用								
		東蔵	対策内容								
			対策費用								
		西蔵	対策内容								
			対策費用								

No.	施設名	棟名称	項目	計画期間							
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
12	小村記念館	会館	対策内容								
			対策費用								
13	油津赤レンガ館	資料館	対策内容								
			対策費用								
14	堀川資料館	資料館	対策内容								
			対策費用								
15	旧守永家(旧飯田医院)	主屋	対策内容								
			対策費用								
		洋館	対策内容								
			対策費用								
		納屋	対策内容								
			対策費用								
16	旧小鹿倉家	主屋	対策内容								
			対策費用								
		畜舎	対策内容	令和元年度以降で「株式会社Nazuna」が宿泊施設として改修工事を実施し、その後は貸付を行う。							
			対策費用								
		土蔵	対策内容								
			対策費用								
17	旧伊東祐正家	主屋	対策内容								
			対策費用								
18	旧河野宗泰家	主屋	対策内容								
			対策費用								